

仙台市立仙台工業高等学校 [定時制課程] のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針：（「仙台市教育構想 2021」より）

- 工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図る。
- 地域や産業界と連携し、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組む。

校 訓： 友愛 協調 勤勉

学校教育目標：

4年間の定時制課程の中で、時には「働きながら学ぶ」など、社会人としての生活と高校生としての生活をとおして、自主・自立の醸成を促しながら、生徒同士、生徒教師間の望ましい人間関係を構築する。また、工業技術・技能の基礎・基本を習得させ、社会の有為な形成者を育成する。

- ①学びながら、働きながら「不撓不屈」（曲がらない、屈しない）の精神を養う
- ②知・徳・体の調和のとれた成長を促す
- ③実践的な職業能力と勤労観を育成する

重点目標：

個に応じたきめ細かな教育活動や地域社会での勤労を通じて、伝統校に学ぶ者の誇りや、自主自立の精神を持ち、社会に必要とされる人材を育成するため、職員一丸となって取り組む。

『 創立 106 年の歴史と伝統を継承しつつ、個に応じて社会に有為な人材を育成する 』

『 生徒・保護者・同窓生と共に歩み、地域から信頼され、求められる学校の実現 』

『 見てみたい、行ってみたい、入ってよかった、全生徒が充実した学校生活の実現 』

1 グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

◆育てたい7つの資質

- たくましく生きる力
- 思いやるこころ
- 基本的な生活習慣の確立
- 社会とかかわる力
- 学び続ける姿勢
- 確かな知識と実践力
- 強い精神力と豊かな創造力

2 カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

1) 確かな学力の習得

- 基礎基本の定着と学習の習慣化
- 動機づけを重視した学習指導の計画と展開
- わかる授業の展開と自ら学ぶ環境の充実

(2) 人間力の形成に向けた基礎力の向上と技能の習得

- ものづくりや資格取得を通しての技術・技能の習得
- 働きながら学ぶ生徒へのきめ細かな支援と学ぶ意欲の高揚
- 5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）運動による安全教育の徹底

(3) 落ち着いた教育環境でのよりよい人間関係の構築

- 基本的な生活習慣の確立
- 学校行事をとおしての豊かな心、健やかな体の育成
- 望ましい人間関係の構築とあいさつの励行

(4-1) 機械科の学習内容

- ものづくりの基礎である図面の読み方や測定方法を学び、工作機械作業の基本操作から3級技能検定課題相当の課題へと段階的に技能の向上を図ります。
- 制御技術においては信号機など身近なものを例に、スイッチでのON/OFF、リレーシーケンス、シーケンサによる制御と基礎・基本から応用へと段階的に学び、技能検定『シーケンス制御作業』合格程度の技術力を身につけます。
- テスター、ペーパーウェイト、シャコ万力など生活と学びをつなげる作品の製作などをおし、機械への興味・関心を高めます。

(4-2) 建築土木科の学習内容

- 1年次は建築及び土木に共通する基礎的な内容を学び、2年次より建築または土木を選択し、それぞれの技術者として必要な専門分野を学びます。
- 建築では木構造に関する内容を中心に学び、さらに鉄筋コンクリート構造、鋼構造などに関する内容も学びます。また、建築工事に必要な設計製図や木材加工をはじめ、施工や法規などを基礎から応用まで幅広く学びます。
- 土木では土木工事の基礎となる測量を中心に学び、測角・測距を基本に水準測量やトラバース測量などに取り組みます。また、治水・利水工事に必要な水理や材料実験をはじめ、施工や社会基盤工学などを基礎から応用まで幅広く学びます。

3 アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

本課程は、全国屈指の長い歴史と伝統を持つ夜間定時制工業高校です。学びながら、働きながら「不撓不屈」（曲がらない、屈しない）の精神を養うとともに、知・徳・体の調和のとれた成長を促し、実践的職業能力と勤労観を育成するという教育目標のもと、日々の教育活動に取り組んでいます。

また、機械科並びに建築土木科では、社会に必要とされる人材を育成するために、たくましく生きる力、思いやるこころ、基本的な生活習慣の確立、社会とかかわる力、学び続ける姿勢、確かな知識と実践力、強い精神力と豊かな想像力の7つの資質を養います。そして、意欲的な高校生活を送るために、次の①～⑤のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

- ①各科に興味・関心がある生徒
- ②ものづくりを通して社会に貢献しようと考えている生徒
- ③基礎学力が身に付いている生徒
- ④基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- ⑤他を思いやり尊重することができる生徒